

令和5年 3月10日

足立区立西新井小学校
校長 加納 和彦 様

足立区立西新井小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 須藤 勝志

令和4年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

今年度は、足立区の方針を受けて「持続可能な学校」にすることを目標にしながら、学校経営計画の重点目標である、①学力向上アクションプラン ②安全で安心できる学校づくり ③開かれた学校づくりを推進された。

また、新型コロナウイルス拡大防止対策の継続や、足立区の情報教育研究拠点校として児童一人一台PC端末を活用した授業改善等に全校で取り組んできたこと、東京都コーディネーショントレーニング地域拠点校として児童の体力向上に努めてきたことなどの説明があった。足立区学力定着に関する総合調査においては、国語 84.6%・算数 81.8%と、2教科とも通過率が目標の80%を達成した。このことを児童の基礎学力の確実な定着と教員の授業力向上の努力の成果と受け止める。

《重点1：学力向上アクションプラン》

全教員が「足立スタンダード」並びに、教員の基礎・基本についてまとめ上げた「西新井小スタンダード」(教師編)の活用を継続している。また、児童の学校生活の基礎・基本についてまとめた「西新井小スタンダード」(児童編)と「新しい生活様式」を全児童に配布し、統一した指導実践も継続している。

足立区情報教育研究拠点校として、1年生にも配備されたChromebookおよびGoogleアプリを活用した授業改善の継続、AIドリルの活用やタイピング練習アプリ「キーボー島」を奨励したと聞いた。さらに、高学年においては、教科担任制(英語・家庭科・総合的な学習の時間)を試行し、①教材準備時間の短縮、②教員の負担軽減、③児童の満足度が高い授業の実現などの効果が報告された。

来年度は、コロナ対策が緩和されると予測できることから、小中連携教育や幼保小連携、地域と連携した教育活動の復活及び充実も期待できそうである。保護者や地域に向けた授業や行事の公開も増えると思うので、実際に子供たち活動の様子や教員の指導の様子を参観すること楽しみにしている。

《重点2：安心できる学校づくり》

「自らの安全が確保できる児童の育成と学校の安全確保」という目標を継続し、指導・訓練・研修会等を計画通りに実施できている。大雪警報が発令された日は、登校時間帯に融雪剤が学校周辺の歩道に散布され、下校時は方面別一斉下校で教員が児童を安全に誘導していた。保護者や地域住民はその様子を見て安心することができた。

また、長引くコロナ禍において、子供も大人もストレスの多い生活が続いている中、いじめの防止・早期解消に向けて「WebQUテスト」が導入されたと聞いた。また、安全指導の徹底について努力してきたと報告があった。教職員が知識習得やスキルアップを図るだけでなく、児童自身がいざという時に適切な対応ができるように育てて欲しい。今のところ大きなケガや事故の報告はないが、コロナの沈静化に伴い新しいトラブルが起きるかもしれないので、児童が安心して安全に楽しく生活できる学校づくりを今後も継続し欲しい。

《重点3：開かれた学校づくりの推進》

今年度もコロナ禍における制限により多くの行事が中止となった。夏休みのラジオ体操、ゆかた着付け教室&踊り方、地域の名人・達人による体験教室、交流給食会、地域の方々による「西小わくわくパレット」（放課後子ども教室）の充実（読書・絵本・将棋）などは、計画段階まで進めたが実施直前になって感染状況の悪化から中止を求められた者も多い。今年度は茶道教室と親子ふれあい農園、花いっぱい運動しかできなかつたが、子供たちと保護者、地域が学校と一体となって活動してきたことをしっかり継承し、コロナ沈静後の復活・充実を期待したい。

2 保護者や地域へメッセージ

- ・西新井小学校は創立90周年を超え、前史を含めると令和5年に150周年を迎える歴史と伝統のある学校です。学区域外からの入学者も多く、皆さんから選ばれる学校です。
- ・足立区は「Google for Education パートナー自治体」です。これは、西新井小学校を含む区内数校が「Google for Education 事例校」として承認されたことにより実現したそうです。西新井小学校での教育活動が全国の学校に事例として報告されこととなります。今後も子供たちの健やかな成長と情報活用能力向上に向けて学校の教育活動を支えて参りましょう。
- ・特色ある教育活動である、①ICT教育 ②防災教育 ③プレゼンテーション能力の育成や、「持続可能な学校」づくりには保護者・地域の協力が必要です。今後も、西新井小学校の「よい校風」を一緒に作っていきましょう。

3 その他

- ・今年度の学習発表会は、音楽発表（奇数学年）と学習発表（偶数学年）という内容で、新型コロナ対策をしながら学年ごとに保護者が入れ替わる形式で行われた。また一歩、制限が緩和されて教育活動を参観する機会が増えた。1階多目的室での図画工作科・家庭科の作品展示は、3回の土曜授業日に分けて2学年ずつ参観できたので、少人数でゆったり味わうことができた。書き初め展は画像による公開に留まり、実物を見ることができなかつたので、今後は工夫して欲しい。
- ・運動発表会は、奇数学年と偶数学年の2部構成として、学年ごとに保護者を入れ替える形式で行われた。途中からの激しい雨のため中断を余儀なくされた学年についても、体育館での表現種目の発表を行い大勢の保護者が参観できた。さらに、校庭での演技を参観する機会も設定された。
- ・卒業式・入学式への来賓の参加ができるようになると聞いている。今後も、子供たちのために教育活動の改善に努め、さらにより学校づくりをお願いしたい。協議会としても全力で協力していきたい。

以上